

テーマ① 『病院との連携』 に関する報告

区内の病院とのネットワークを元にした取組み



西区在宅医療介護連携相談支援室
(受託法人 西区医師会)



西区の概要

総人口 99,856人 【平成31.3.31】

高齢者 15,771人

高齢化率 15.8%

要介護認定者 3,101人

集合住宅居住率 89.7%

1世帯人数 1.74人

地域包括支援センター 1ヶ所

病院 8 (一般病床1,326床)

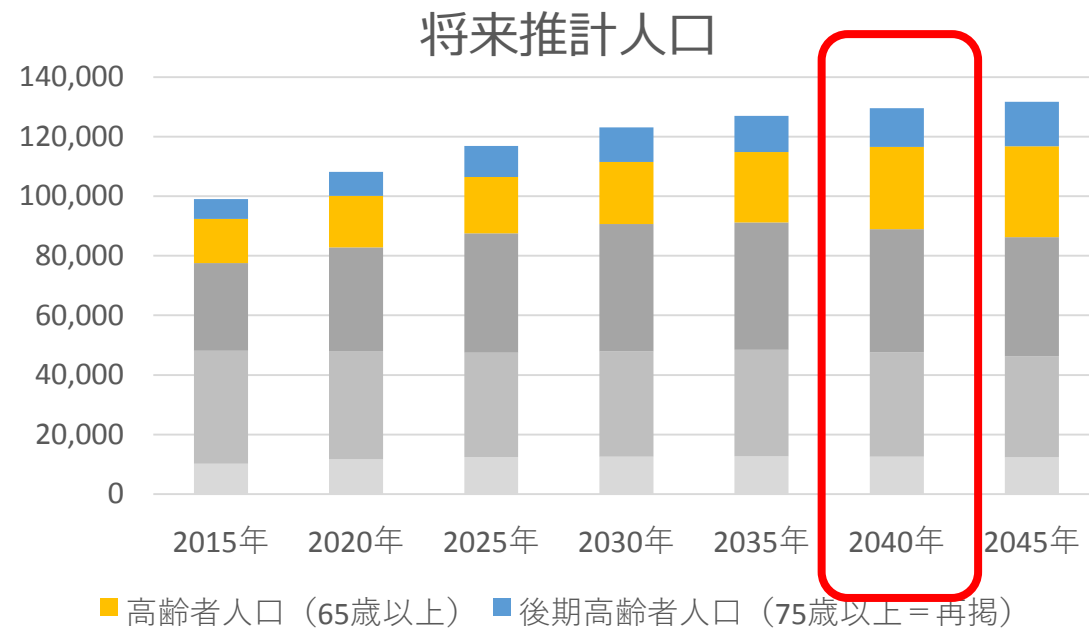
在宅療養支援病院 2

在宅療養後方支援病院 3

一般診療所 97

西区の強みは

中小規模の病院が多くある事



国立社会保障・人口問題研究所 (2018年3月推計) より

2040年には・・・

高齢化率23.7%、高齢者人口2015年の1.86倍と推定される

2040年の高齢化への対応が課題

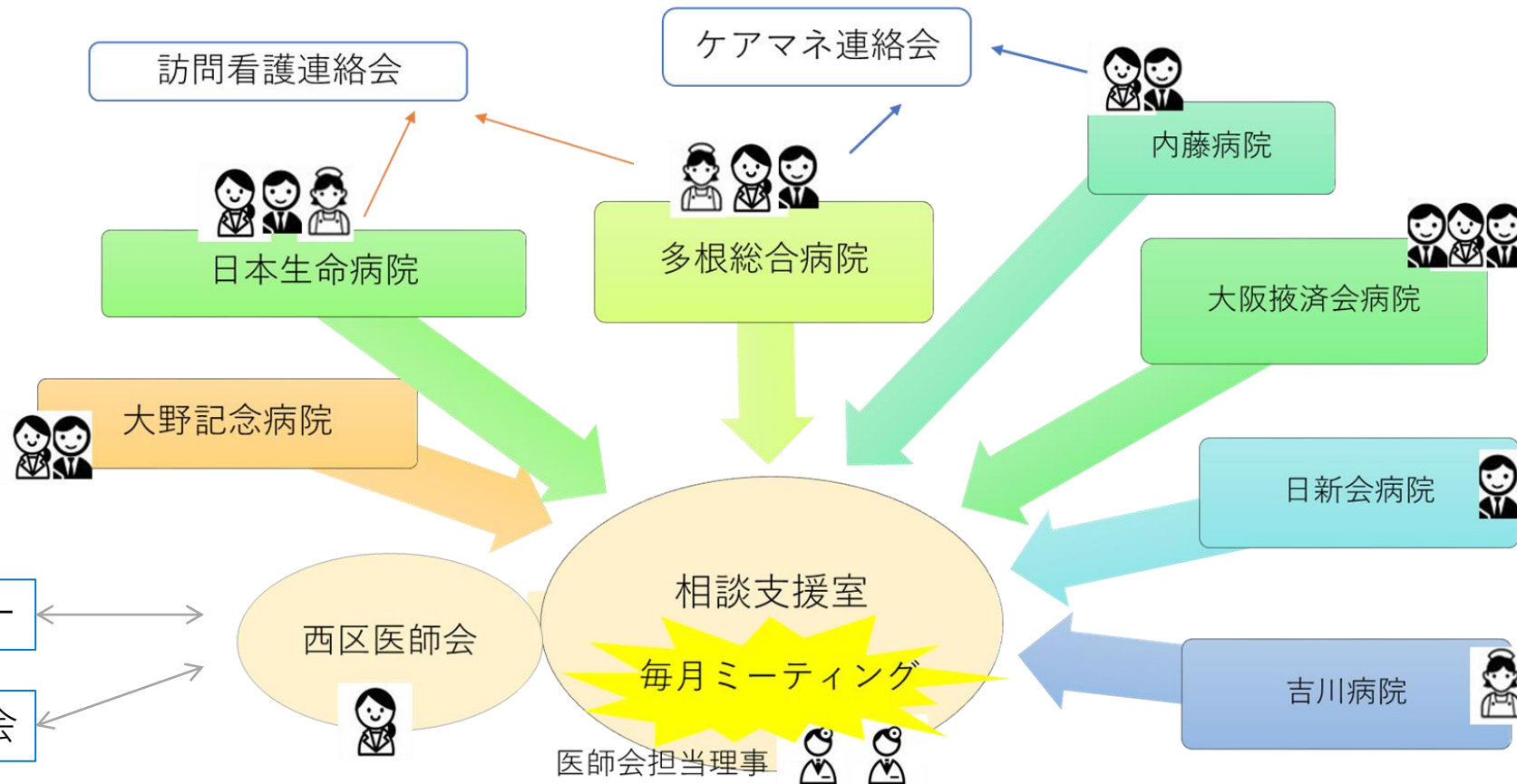
西区在宅医療・介護連携相談支援室の開設にあたり・・・

全ての病院から多職種のコーディネーターを選出して相談支援室を運営する

⇒ 相談支援室を情報集約と発信の場として位置づけ

地域連携・MSW	11人
入退院支援看護師	1人
訪問看護師	2人
ケアマネジャー	3人
医師会	1人

全部で**18**人の
コーディネーターが在籍



このネットワークを活用して『2040年問題』という課題解決を目指す！



病院とケアマネの連携を強化するには？



顔を合わせる機会を増やす ⇒ 毎月研修会を開催

◆毎月研修会を開催（2018年度 12回開催）

- ・会場は病院を持ち回り ・企画も担当病院コーディネーターを中心に、職員にも協力・参加
- ・テーマは在宅医療・介護連携に関わる内容
- ・介護関係者の医療知識の向上も目指す

延べ **759**人 が参加

月/日	テーマ	担当	参加数	月/日	テーマ	担当	参加数
4/18	異常の発見～神経内科の病気・発見と対処法	内藤病院	57人	10/17	医療機器・材料見本市～見て触ってみよう	大阪掖済会病院	43人
5/16	退院支援① ケアマネとの連携	多根総合病院	87人	11/10	病気と共に地域で生きる② 終末期どこで最期を迎えるか	ニッセイ訪問看護	61人
6/23	病気と共に地域で生きる① ～認知症～	ニッセイ訪問看護	66人	12/1	病気と食事 治療食の調理実習	医師会 相談支援室	77人
7/18	退院支援② 退院後訪問と在宅連携	大野記念病院	70人	1/16	感染症の対応・予防	多根総合病院 4病院認定看護師	49人
8/25	薬局との連携 上手な薬の飲ませ方	薬剤師会 相談支援室	57人	2/14	西区の在宅医療 ACPを体験しよう	相談支援室 ケアマネ連絡会	87人
9/19	自宅・施設でできる口腔ケアと食事の工夫	歯科医師会 相談支援室	45人	3/13	退院支援② 退院前カンファレンス	日本生命病院 大野記念病院	60人



病院勤務の医師・看護師は在宅医療の現場を知らない・・・



在宅医療に携わる医師・訪問看護師が、病院まで伝えに行こう！

- ◆ 病院のスタッフに、在宅医療の「現場の状況」や「どんなことができるか」を知ってほしい
- ◆ 区内で在宅医療に積極的に携わっている医師が講師となり、病院で研修をする
- ◆ 病院の医局・看護部・地域連携の協力を得て、区内（+近隣区）の急性期病院で研修会を開催

延 **359** 人
 医師：138人
 看護師：192人



・在宅の現場の多くの写真を提示
 ・在宅医療との連携の時期やポイント
 ・在宅医療 ≠ 看取り
 ・ACPIはいつできる？

などを講演

病院医師・看護師に大変好評だった

開催日	開催場所	参加人数		
		参加者計	(医師)	(看護師)
2018/12月	大阪掖済会病院	33人	15人	14人
2019/2月	大野記念病院	43人	20人	20人
2019/8月	日本生命病院	101人	19人	68人
2019/9月	多根総合病院	94人	53人	40人
2019/10月	住友病院（北区）	88人	31人	50人



ケアマネジャーは病院のことがよくわからない



病院で退院支援のしくみを直接説明しよう ⇒ 病院ツアー開催

病院ツアー in 多根総合病院 を開催 (2019年9月20日)

37人が参加

病院ツアー 開催のご案内

テーマ：もっと知って欲しい、お互いのこと

『病院ってこんな風になっています in 多根総合病院』

平成29年4月から西区医師会に在宅医療・介護連携相談支援室が設置され、3年目を迎えました。これまで様々な研修会等を企画してきましたが、今年は新しい取り組みとして、「病院ツアー」を開催します。

西区在宅医療・介護連携相談支援室では、今後ますます「病院」と「ケアマネジャー」との連携が不可欠であると考えています。よりよい連携を目的に、多根総合病院の職員がツアーガイドとして、病院機能の紹介や院内の見学をしながら様々な意見交換が出来る機会になればと企画しました。皆様のご参加をお待ちしております。

日時：令和元年9月20日（金曜日）14:00～17:00
会場：多根総合病院 4階 講堂
対象：西区・近隣区のケアマネジャー
申し込み：必ず事前に申し込みが必要です
参加費：無料

ツアーガイド：多根総合病院、多根訪問看護ステーション
多根総合病院居宅介護支援事業所



1.多根総合病院の紹介

- ・1日の救急車の台数 ・入院理由として多い疾患
- ・病院勤務者の数

2.地域支援センター紹介

- ・地域情報連絡室・入退院調整室・相談室のそれぞれの役割
- ・退院支援調整のプロセスの説明
- ・入院時間、退院時間
- ・専用の入院前問診票について
- ・グループワーク：病院に聞きたいことを話し合っ発表

3.病院内の見学

- ・5～6人のグループで、救急外来・オペ室・病棟などを見学

わかりやすかった・病院を身近に感じた・定期的にしてほしいなどの感想が多かった



他の病院も開催を企画中



病院は医療・介護者向けの研修会を開催しているのに介護職に情報が伝わらない



区内で行っている研修会情報を集約して・発信 ⇒ 広報誌ハーモニー発刊

- ◆在宅医療に関する研修会を一括掲載
区内の病院主催の研修情報も発信
- ◆病院看護部と連携し
病院の開催している研修会に
在宅の関係者にも参加してもらう

毎月
発行

【配布先】

- | | |
|--------------|--------------|
| 病院 | 薬剤師会 |
| 在宅医療を担当する診療所 | ケアマネジャー |
| 歯科医師会 | デイサービス連絡会 |
| 訪問看護ステーション | 認知症初期集中支援チーム |
| 訪問介護事業者連絡会 | 保健福祉センター |
| 地域包括支援センター | |
| ランチ | |

大阪市西区医師会
在宅医療・介護連携相談支援室 広報誌

WA!
Nishiku Osaka
Medical Association

ハーモニー
Harmony Vol. 6

■ 11月の研修会です。詳細は、問合せ先までご連絡ください！！

学び舎 @四ツ橋診療所

11/19(火) 18:00~20:00

テーマ「もしバナゲームを使って
人生会議をやってみよう」
在宅療養中の患者さんの生活の質をあげる
ために、一緒に学びませんか？
どなたでも参加自由、無料です。

申込 問合せ
FAX: 6533-6538 での申込が必要です
※11/16
問合せは 四ツ橋診療所まで 06-6532-0148

**【日本生命病院】
地域連携看護セミナー**

日時 11/21(木) 17:30~18:30

場所 日本生命病院 あったかふれあいホール
演者 二井 千里(手術看護認定看護師)
演題 静脈血栓塞栓症について ~リスクと予防~
問合せ 日本生命病院看護部 06-6443-3446
その他 参加費無料 予約不要

日本生命病院では、認定看護師の同行訪問始めました！
通院が困難で在宅療養でお困りの方に対し日本生命病院の認定看護師
が担当の訪問看護師と一緒に伺いご自宅で安心して療養生活ができるよ
うに支援させていただきます。

詳細は日本生命病院ホームページをご参照ください

アドバンス・ケア・プランニング) 研修会
各種連携における意思決定支援~
14:00~16:00

在宅医療における看取り等研修会
11/7(木) 14:00~16:00
大阪府医師会館 4階大会議室



地域の関係団体の人にも病院のことを知ってほしい



地域包括支援センター・歯科医師会・薬剤師会と協働する！

◆地域包括支援センターとの連携

・各種連絡会・運営会議に病院所属のコーディネーターが参加

高齢者障がい者
支援者連絡会

高齢者支援担当者部会
生活支援体制整備事業協議体

「急性期病院のしくみ
について」を講演



「無料低額診療について」
を講演

認知症初期集中関係者連絡会
認知症関係者連絡会議

認知症専門医の講演手配
病院MSWの参加

◆歯科医師会・薬剤師会と共催

・2019年も医療・介護連携研修会を開催

月	共催	主なテーマ	参加
7月	歯科医師会	嚥下機能について	46人
9月	薬剤師会	ポリファーマシー	32人
12月	歯科医師会	嚥下障害の診かた 問診	67人

◆病院と在宅医療関係者との情報交換会を開催

・74名が参加



2040年の高齢化に対応するために、

個人の力のみで頼るのではなく、組織（団体）として連携できるネットワークのしくみをつくり、
継続的に在宅医療推進に取り組んでいきたい